

申込書

シンポジウム・薬草料理交流会・薬草の森散策、及び、宿泊

※シンポジウム、薬草料理交流会、及び薬草の森散策への参加には、事前申込みが必要です。  
この申込書にて必ず事前に申込みをお願いします。また、宿泊に関してもお申込みを受付けております。

尚、お申込みは先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。

シンポジウム(定員800名)、交流会(定員500名)、薬草の森散策(定員200名)

申込代表者氏名			
団体名(団体の場合)			
申込代表者住所			
連絡先(電話・FAX)	[電話]	[FAX]	
メールアドレス			

氏名	性別	住所	9/10(出) シンポジウム (加音ホール) 1,000円	9/10(出) 交流会 (フォンタナの丘かもう) 7,000円	9/11(日) 薬草の森散策 (県民の森) 500円	宿泊(1泊朝食)(サンロイヤルホテル)		
						1名利用 12,500円	2名利用 10,500円	3名利用 9,300円
1								
2								
3								
4								
5								
6								

※シンポジウム、薬草料理交流会のみのご参加の皆様も必ず申込みをお願いします。  
※宿泊お申込みの方は、交流会終了後(交流会不参加の方はシンポジウム終了後)、宿泊ホテルまでの送迎バスをご用意いたします。  
また、翌日のイベント会場(集合場所)までの送迎バスもご用意いたします。  
※個人情報の取扱いについて: 当社は申込書等に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、宿泊機関等の提供するサービスの手配・受領のための手続きに必要な範囲内で利用いたします。  
※メールによるお申込みの場合は、下記アドレスに必要事項を漏れなく送信してください。

大会記念オリジナルTシャツ申込受付中! 1枚 2,000円(税込)  
下記の欄にご記入の上、お申込みください。

オリジナルTシャツ	サイズ	S	M	L	LL
	枚数	枚	枚	枚	枚

※ご注文いただいたTシャツは全て、申込代表者の方に当日会場にてお渡しいたします。

お申込み先 電話によるお申込みは承っておりません	【郵送の場合】	〒892-8563 鹿児島市樋之口町 1-1 MBCトラベル(薬草シンポジウム係)宛
	【FAXの場合】	099-224-6057
	【Eメールの場合】	ebara@mbckh.com

●郵送またはFAXでお申込みをされる場合は、この面をコピーしてお使いください。

申込期限  
7月31日  
(必着)

第5回  
全国薬草  
シンポジウム  
2016 in あいら



古からの自然の恵み  
食として薬として  
自生の薬草を活用し  
人と地域を健康に。

日時 9月10日(土) ~ 9月11日(日)

開催場所 加音ホール/フォンタナの丘かもう/鹿児島県県民の森

9月10日(土)

9月11日(日)

シンポジウム 基調講演 崇城大学 薬学部 薬学科 特任教授  
講師 村上 光太郎氏

パネルディスカッション

コーディネーター 原口 泉氏 (鹿児島県立図書館長)  
パネラー 村上 光太郎氏 (崇城大学 薬学部 薬学科 特任教授)  
千葉 しのぶ氏 (NPO 法人「薬食育研究会」理事長)

時間: 13:15~17:00  
場所: 加音ホール

交流会 薬草料理を楽しむ交流会

時間: 18:00~20:00  
場所: フォンタナの丘かもう

イベント1 村上先生と巡る薬草の森散策

時間: 9:00~12:00  
場所: 鹿児島県県民の森  
自然薬草の森



イベント2 島津義弘公武者行列

時間: 10:00~14:30  
場所: 始良市内



イベント3 薬草商品と始良市特産品等の販売

時間: 10:00~17:00  
場所: フォンタナの丘かもう



会場までのアクセス



フォンタナの丘かもう  
鹿児島県始良市蒲生町久末434-1 TEL 0995-52-1218  
■JR 日豊本線「重富駅」下車後、車で15分  
■車 鹿児島空港から30分/九州自動車道始良ICから5分

加音ホール  
鹿児島県始良市加治木町木田5348-185 TEL 0995-62-6200  
■JR 日豊本線「錦江駅」下車後、徒歩20分  
■車 鹿児島空港から20分/九州自動車道加治木JCTから10分



崇城大学 薬学部  
薬学科 特任教授  
薬剤師 薬学博士  
村上 光太郎氏  
Murakami Kotaro

1945年 広島県出身  
1968年 徳島大学薬学部卒業  
1970年 同大学大学院薬学研究科修士  
徳島大学薬学部助手を務める  
2004年 崇城大学薬学部教授就任  
長年、全国各地の民間薬調査、薬用植物分布調査を行い、国内外において生薬の効能の解明普及に努めている。主な著書『「焼き」くだもので10歳若返る』(祥伝社)、『薬草療法ハンドブック』(法研)、『徳島県薬草図鑑』(上下巻、徳島新聞社)、『食べる薬草事典』(農文協)、『地球は大きな薬箱』(農文社)など多数。

主催 全国薬草シンポジウム 2016 in あいら実行委員会

共催 始良市  
後援 鹿児島県、鹿児島大学農学部、三州同盟(日置市、湧水町、えびの市)、(公財)かごしまどりの基金、(公社)鹿児島県森林整備公社(鹿児島県県民の森)、鹿児島県森林組合連合会、(公社)鹿児島県観光連盟、鹿児島県特産品協会、鹿児島県ホテル旅館生活衛生同業組合、始良市商工会、始良市特産品協会、始良市観光協会、始良西部森林組合、あいら農業協同組合、加治木ロータリークラブ、始良ロータリークラブ、加治木ライオンズクラブ、始良ライオンズクラブ、南日本新聞社、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、エフエム鹿児島、南九州ケーブルテレビネット株式会社

お問合せ先

〒899-5307 始良市蒲生町久末 434-1  
フォンタナの丘かもう内  
全国薬草シンポジウム 2016 in あいら実行委員会事務局  
TEL 0995-52-1218 FAX 0995-73-6006  
E-mail office@f-kamou.com

蒲生地区



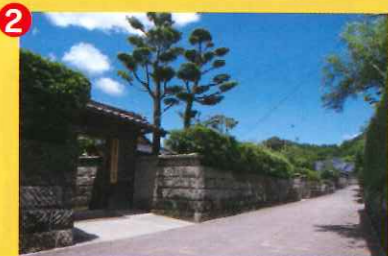
1 蒲生八幡神社 かもうはちまんじんじゃ

蒲生八幡神社は、蒲生家初代の上総介舜清が、保安4年(1123年)宇佐八幡宮を勧請して、現在地に建立したものです。島津義弘公は当社を厚く崇敬し、社殿を再興して、正八幡若宮の額を掲げ、太刀・甲冑・宝器を寄進したと言われています。旧県社で社宝の銅製秋草双雀文様鏡は国の重文です。境内に日本一の大楠があります。

日本一の巨樹 蒲生の大クス

にほんいちのきよじゅ かもうのおおくす  
 国特別天然記念物(大正11年指定)。蒲生八幡神社境内にそびえ立つ大楠は、樹齢約1,500年、根周り33.5メートル、目通り幹囲24.22メートル、高さ約30メートル、日本一大きな樹木に認定されています。樹根部分には、8畳分もの大きな空洞があり、下から見上げる壮大さと、地にどっしりと根をはった力強さは、神秘的で不思議な感覚を抱かせてくれ、近年はパワースポットとしても人気の地です。蒲生の地を訪れた和気清麻呂が手にした杖を大地に突き刺したところ、それが根付いて大楠になったとも伝わっています。

始良市蒲生町上久徳2259-1  
 営/通年  
 P/蒲生八幡神社 20台  
 蒲生観光交流センター内駐車場(歩いて1分)19台うちバス8台



2 武家屋敷群 ぶげやしきぐん

始良市蒲生町上久徳2308-1  
 営/通年  
 P/20台

江戸時代、薩摩藩内では領内を113の区画に割り、それぞれに地頭仮屋を設け、その周辺に「麓(ふもと)」と呼ばれる武士集落をつくりました。旧蒲生町はこの薩摩藩独自の外城制度、薩摩古流の兵法に基づく、美しく、機能的な町割を残す県内でも数少ない地域です。御仮屋門(おかりやもん)を中心に9つの馬場(通り)と2つの小路で構成されており、道筋には今なお数多くの武家門を見ることができます。

フォントナの丘かもう



健康に暮らすための地域の交流拠点「健康の駅」。木の香りたどよう、癒しの空間が広がる大露天風呂はのんびりくつろげます。温泉は保湿効果のある弱アルカリ性、源泉かけ流しの美肌温泉と地元食材の薬草料理、絵の香りたどよう建物、自然に触れることのできる施設です。



始良市蒲生町久末434-1  
 TEL 0995-52-1218  
 温泉/5:00~21:00(受付20:00まで)  
 産直市場/8:00~20:00(無休)  
 ランチバイキング/11:00~15:00(受付14:00まで)  
 デイナー(要予約)/18:00~21:00  
 宿泊/チェックイン15:00~最終チェックイン:21:00  
 チェックアウト10:00  
 P/有り 146台 無料

始良市  
 歴史と自然の  
 スポットめぐり



加治木地区



3 龍門滝 りゅうもんたき

始良市加治木町木田5266-1  
 営/通年  
 P/20台(木田5258-1)

高さ46メートル、幅43メートルのこの雄大な滝は、古来から薩摩の名所とされ、「日本の滝百選」にも選ばれました(平成2年4月12日選定)。昔、唐人がこの滝を称して「漢土の龍門の滝を見るが如し」と言ったことから、龍門滝と呼ぶようになったと伝えられています。夜間にはライトアップされたファンタジックな姿を見ることができます。



4 椋鳩十文学記念館 むくはとしゅうぶんがくきねんかん

始良市加治木町反土2624-1  
 営/通年9:00~17:00  
 (入館は16:30分まで)  
 休/月曜日(祝日の場合は翌日)、  
 12月28日~1月4日  
 P/大6台 普34台

わが国で初めて本格的な動物文学のジャンルに取り組んだ作家・椋鳩十に関する遺品や著書を一堂に集め、児童文化の発展を願って平成2年に建設されました。年譜や写真、「マヤの一生」「ヤクザル大王」などの直筆原稿、著書、俳画、掛軸のほか、取材ノートや児童・生徒の読書感想文、児童文学関係資料など多くの遺品や資料が展示されています。

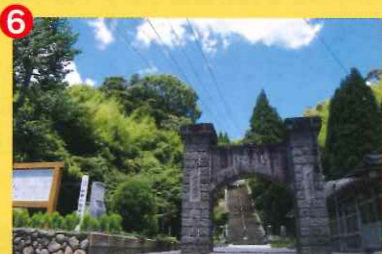


5 精矛神社 くらほこじんじゃ

始良市加治木町日木山308-1  
 営/通年  
 P/20台

明治2年に現在の鹿児島県立加治木高等学校、柁城小学校の敷地に当たる場所(ここは祭神でもある島津義弘が亡くなるまで過ごしていた加治木館の場所である)に造営され、神号の精矛厳健雄命から精矛神社と命名されました。その後、大正7年(1918年)に没後300年にあたって、現在地にあらたに造営遷座されました。宮司は加治木島津家第13代当主でもある島津義秀が務めています。

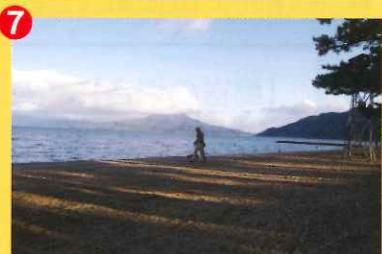
始良地区



6 山田の凱旋門 やまだのかいせんもん

始良市下名1187  
 営/通年  
 P/8台

明治37~38年、日露戦争に山田村(当時)から従軍した人たちの無事帰還を記念して、明治39年(1906年)山田村兵士会が建設した日本では珍しい凱旋門です。上部はアーチ型に組まれ、中央に縦60センチメートル、横121センチメートルの石がはめ込まれています。石段を登ると奥に招魂社があり、西南の役、日清、日露、大東亜戦争の眠れる勇士約1,200柱が祀っています。平成13年8月28日に国の登録有形民俗文化財に登録されました。



7 重富海岸 しげとみかいがん

始良市平松7703-4  
 営/7月中旬~8月31日まで  
 海水浴シーズンは9:00~18:00  
 (監視員常駐)  
 休/期間中無休  
 P/50台

重富海岸(重富海水浴場)は、白砂青松が数百メートルに及び、干潟をとおして桜島を正面に望む雄大な景観が楽しめます。脱衣所、シャワーなども整備されており、夏は海水浴場として開設されます。

シンポジウム開催記念  
 オリジナルTシャツ  
 販売のご案内  
 1枚2,000円(税込)



詳しくは裏面のお申し込み欄をご覧ください。